

◆ 心臓病の最新治療学ぶ

心臓病をテーマにした市民公開教室（心臓病センター榊原病院主催）が30日、岡山市北区丸の内の市民会館であり、約530人が予防法や治療の最新技術を学んだ＝写真。

同病院の医師ら3人が講演。林田晃寛・循環器内科部長は「心不全」について、急激な体重増加や手足のむくみといった発症前のサインを説明し、「肥満などが要因になる。生活習慣改善が重要」と述べた。



近沢元太・院長補佐（心臓血管外科）は大動脈瘤^{りゅう}に対する人工血管を使った手術を紹介。「体への負担が少なく手術の傷痕も目立たない」など利点を紹介した。

栄養科の森川聖子副主任（管理栄養士）は「心臓を守る食事」をテーマに説明。「しょうゆなど調味料をかけるのではなく、つけて食べると塩分を取り過ぎずに済む」などとアドバイスした。